

エピソード

戸外では「チョウチョが飛んでいるよ」「テントウムシみっけ!」と春の生き物に関心をもつ姿が見られます。その中でもダンゴムシは子どもが大好きで、植木鉢の下や草むらを探しています。ダンゴムシに興味をもっている姿に合わせて『だんごむしのひみつ』という絵本を読むと、体のつくりや食べるものを知り、生態を活かしたダンゴムシ釣りという遊びに興味をもつ姿がありました。

翌日も子ども達は「いっぱい見つけたね」とダンゴムシを集めて楽しんでいました。近くに昨日の絵本に載っていた、紐を割り箸で挟んだ道具を置いておくと、「歩くかな?」と紐の上にダンゴムシを乗せてみる子がいました。するとダンゴムシは紐を伝って歩き始めました。「見て!」「すごいね」と喜んでいると、楽しそうな声を聞いた友達もやってきて「なにやってるの?」「いれて」「私もやってみたい」と同じようにダンゴムシ釣りをやってみる姿がありました。「やった!僕のダンゴムシも歩いているよ」と喜んだり「この写真と一緒にだね」と絵本に載っている遊びと同じようにできたことに嬉しさを感じたりしていました。また、「ひっくり返しても落ちないね」「もうすぐ端っこまでくるよ」と、感じたことや気付いたことを話しながら遊ぶことを楽しみました。

子どもの育ちや学び

植木鉢の下にダンゴムシがいそうだな
(興味・予想)



紐の上を歩いているよ
(面白い・不思議)

私もやってみたい
(友達がしていることへの興味)



全然落ちないんだね(気付き)



- ・身近な生き物に関心をもち、見たり触れたりして遊ぶ。
- ・絵本を通じて、生態を活かした遊びに興味をもつ。
- ・興味のある遊びを通じて友達と関わったり、同じ場で遊んだりすることを楽しむ。
- ・感じたことや気付いたことを自分なりの言葉で表現する。

保育者の思い

- ・4月になって環境が変わり、ドキドキしている子や何をして遊ぼうか考えている子もいます。子ども達が大好きなダンゴムシを通じて、好きな遊びを見つたり、友達や保育者と関わって遊ぶきっかけになったりしてほしいなと思って、声を掛けています。
- ・紐の上をダンゴムシが歩く様子に驚いた声を聞いてたくさんの友達が集まってきました。「やってみたい」と思ったタイミングを逃さないように、十分な数の紐を用意することで、一人一人が不思議だな、面白いなと感じられるように工夫しています。

家庭だったら・・・

あたたかくなり、ダンゴムシが見つけられるようになりました。登降園の際や公園に行ったときなどに「どこにいるかな?」と一緒に探したり、捕まえられたことを一緒に喜んだりするひとときで、春を感じられそうですね。